※令和４年度以降入学生用

| 学校番号 | ２１５ |
|---|---|

# 令和４年度　情報科

| 教科 | 情報 | 科目 | 情報Ⅰ | 単位数 | ２単位 | 年次 | １年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 高等学校 情報Ⅰ（数研出版） | | | | | | |
| 副教材等 | 高等学校 情報Ⅰサポートノート（数研出版）、<br>事例でまなぶプログラミングの基礎 Python 編（実況出版） | | | | | | |

## １　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・学習を通して、コンピュータやネットワークについて学び、日常で使っているコンピュータに対して、理解を深めつつ、コンピュータの良い使い方とは何か考えよう。
・コンピュータやネットワークを利用したコミュニケーションについて考え、多様な考え方を学び、自分の考えを持とう。

## ２　学習の到達目標

・効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについて理解を深めるようにする。
・様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。
・情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。

## ３　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a:知識・技能 | b:思考・判断・表現 | c:主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 情報と情報技術を問題の発見や解決に活用するための知識と技能を身に付け、情報社会と人との関わりについて理解している。 | 発生した事象を情報と、その結び付きの視点から捉え、問題の発見や解決に向けて、情報や情報技術を適切かつ効果的に活用している。 | 情報社会との関わりについて考えながら、問題の発見や解決に向けて、主体的に情報や情報技術を活用し、自ら評価し改善しようとしている。 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 1 | 情報社会の問題解決 | ・情報とメディア<br>・情報社会における法とセキュリティ<br>・情報技術が社会に及ぼす影響 | a：情報セキュリティや情報モラル、知的財産権を保護する必要性や目的について理解している。<br>b：法を遵守した判断や情報モラルに配慮した適切な判断ができる。情報技術が社会に及ぼしている影響について、良い面と悪い面の両面から考え、判断している。<br>c：個人情報やプライバシーを保護することについて関心を持ち、個人の責任を果たそうとしている。 | 定期考査 | プリント<br>定期考査 | 授業観察<br>小テスト |
| | コミュニケーションと情報デザイン | ・情報のデジタル表現 | a：ビットやバイトの概念や、デジタル情報量の単位について理解し、適切に扱うための技能を身に付けている。<br>b：限られたビット数で数値を表現する方法について考え、その結果を適切に表現している。<br>c：アナログ情報とデジタル情報の違いや特徴について関心を持っている。 | 定期考査 | プリント<br>定期考査 | 授業観察<br>小テスト |
| 2 | コミュニケーションと情報デザイン | ・情報のデジタル表現の続き<br>・コミュニケーション手段の発展と特徴<br>・情報デザイン<br>・プレゼンテーション | a:文字や画像・動画、音のデジタル化のしくみを理解し、ユーザインタフェースやプレゼンテーションの役割を理解している。<br>b：デジタル化する方法について考え、その結果を適切に表現している。人にとって利用しやすいユーザインタフェースとはどのようなものか考え、その結果を適切に表現している。<br>c：プレゼンテーションの実施に関心を持ち、積極的に取り組もうとしている。 | 定期考査 | プリント<br>課題<br>定期考査 | 授業観察 |

※令和４年度以降入学生用

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 2 | コンピュータとプログラミング | ・コンピュータのしくみ<br>・プログラミング<br>・モデル化とシミュレーション | a: コンピュータの基本的な構成について理解している。問題解決の手順・解法について理解している。<br>b: アルゴリズムを適切なプログラミング言語と適切な記述で表現している。<br>c: シミュレーションが有効な場合について考え、意欲的に活用しようとしている。 | 定期考査 | プリント<br>定期考査 | 授業観察 |
| 3 | 情報通信ネットワークとデータの活用 | ・ネットワークのしくみ<br>・データベース<br>・データの分析 | a: インターネットのプロトコルの必要性や、IP アドレス、ドメイン名、DNS のしくみを理解している。<br>b: データの分析において、目的に応じた分析の方法を考え、その結果を適切に表現している。<br>c: データベースを利用して情報を蓄積・管理することで、どのようなことが可能になるのかに関心を持っている。 | 定期考査 | プリント<br>定期考査 | 授業観察<br>小テスト |

※　表中の観点について　a:知識・技能　　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度